

## ■ インターネットにはこんなページがあるよ！

【共用品キッズワールド（公益財団法人 共用品推進機構）】

<https://www.kyoyohin.org/ja/education/kyoyoworld.php>

☆ 町で困っている人がどんなことで困っているのか、どうやったら解決できるか紹介されているよ。

【Yahoo!きっず「学習ページ」】

<https://kids.yahoo.co.jp/study/integrated/welfare/wel009.html>

☆ 「総合」→「福祉」のページからユニバーサルデザインについて紹介されているページにいけるよ。

自分の会社でつくっている商品にユニバーサルデザインを取り入れている会社があるよ！

「会社の名前 ユニバーサルデザイン」で検索してみよう！

## ■ さらに調査をすすめてみよう！

【一般社団法人まつもとユニバーサルデザイン研究会】

長野県松本市深志2-8-13 株式会社成進社印刷 内

<http://matsumoto-ud.main.jp/>

☆ 松本市にユニバーサルデザインが広まるよう活動しているよ。ユニバーサルデザインアイデアコンクールや講座を開いているからまずはホームページをチェックしてみよう！

本のことやコンピューターのことなど、調べていてわからないことがあったら、図書館のひとにどんどんきいてみてね。



きみの「知りたい!」をお手伝い まつもととしょかん 松本市図書館パスファインダー

## 『ユニバーサルデザイン』

☆ パスファインダーとは、みなさんの調べものをお手伝いする、みちしるべのことです。わからないことがあったら、なんでも図書館のひとに聞いてくださいね。

## ■ キーワードを考えよう！

まずは、調べるためのキーワードを考えてみよう。どんなものがあるかな？

ユニバーサルデザイン バリアフリー ノーマライゼーション  
福祉/福祉技術…など

♪ほかにも考えてみよう

## ■ キーワードを本で調べてみよう！

★ 『本のタイトル』 出版者、出版年、請求記号、本のある図書館の順番で書いてあるよ。本を探すときの参考にしてみよう。

本についているラベル（請求記号）のひみつ

分類記号…本のテーマをあらわしています。

著者記号…本の作者の頭文字か、書名の頭文字。

※分類記号の前につくJは児童資料、  
Nは郷土資料、Rは貸出禁止資料です。

03 ソ

図書館の本は、この請求記号の  
順番でならべてあります！

● 本のある図書館について ●

- ①…中央 ②…南部 ③…あがたの森 ④…鎌田 ⑤…寿台 ⑥…本郷  
 ⑦…中山 ⑧…島内 ⑨…空港 ⑩…梓川 ⑪…波田

ステップ1 ちょっと調べたい!

本のタイトルなど	請求記号	本のある館
『総合百科事典ポプラディア』 ポプラ社、2011	J03 ソ	全館
『楽しく遊ぶ学ぶよのなかの図鑑 小学館の子ども図鑑プレ NEO』 小学館、2014	J03 タ	全館
『日本の工業 ポプラディア情報館』 ポプラ社、2008	J 50 ニ	①②③

ステップ2 もうちょっと調べたい!

『みんながつかうたてものだから』 偕成社、2010	E1	①⑪
『新しい心のバリアフリーずかん』 ほるぷ出版、2018	J 36 ア	①②
『よくわかるユニバーサルデザイン』 PHP研究所、2019	J 50 ヨ	①⑨
『発見! 体験! 工夫がいっぱい! ユニバーサルデザイン』 学研プラス、2017	J 36 ハ	①⑦⑧



ステップ3 くわしく調べたい!

『調べよう! バリアフリーと福祉用具』 1~5』 ポプラ社、2019	J36 シ	①②
『小中学生のための障害用語集』 金剛出版、2019	J36 シ	①②
『ユニバーサルデザイン UDがほんとうにわかる本 1~3』 六耀社、2017-2018	J50 ユ	①
『「色」の大研究 2』 岩崎書店、2007	J75 イ	①②⑪
『みんなで楽しもう! UDスポーツ』 1~3』 文研出版、2019	J78 ミ	①②

■ OPAC&インターネットで調べよう!

OPACとは、図書館にある、検索用コンピューターのことです。最初にかんがえたキーワードや、本で調べて新しくわかったキーワードをOPACで入力してみましよう。ここで紹介されている本のほかに、新しい本や情報が発見できるかもしれません! インターネットで検索する場合は、最初に考えたキーワードのあとにスペースをあけてもうひとつキーワードをいれてみると、もっと詳しく調べることができます。

例) ユニバーサルデザイン ○○(文房具、フォント、車いす…など)

インターネットを使うと、たくさんの情報を調べることができます。しかし、全部が正しい情報ではありません。間違った内容(うそやうわさ)が書いてあることもあります。参考にするときは、おうちのひとや先生にみてもらいましょう。

